

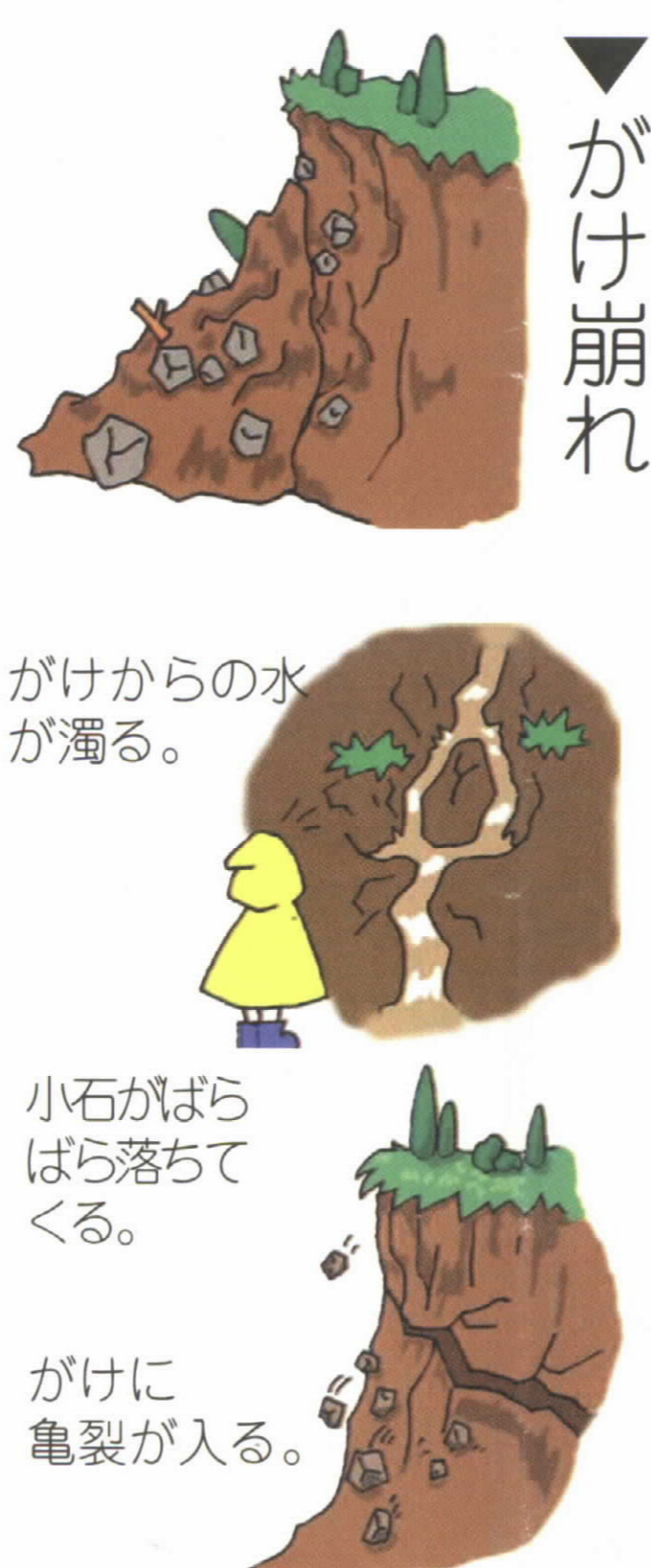


市は、大雨・長雨時には、消防本部や建設部、都市計画部、総務部等がパトロールを実施するなど警戒体制を強化し、災害のおそれがあるときは、避難勧告や指示を出します。また、情報には十分注意してください。また、避難所の所在地および土砂災害が予想される危険箇所を裏面に掲載しています。事前に、自分が住んでいる地域が危険箇所に含まれているかどうかをよく確認しておいてください。

災害に備えて

私たちは、日常生活において地震や火災、不慮の事故によるケガなど、身の危険にさらされることが少なくありません。これらの危険に遭遇したとき、とっさに何が出来るかによって生死が分かれ、また、被害の規模も大きく変わってきます。

不意に襲ってくる危険を回避し、身の安全を守るためには、私たちひとりひとりが日頃からその備えを心がけておくことが、何よりも大切なことです。



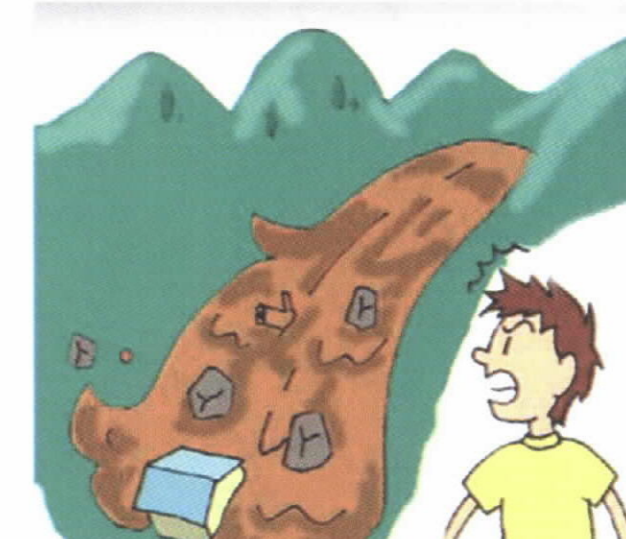
がけからの水が濁る。

小石がばらばら落ちてくる。

がけに亀裂が入る。



斜面から水が噴き出る。



山鳴りがする。

ドオオオ



川の流れが濁ったり、流木が混ざり始める。

土砂災害への備えを!

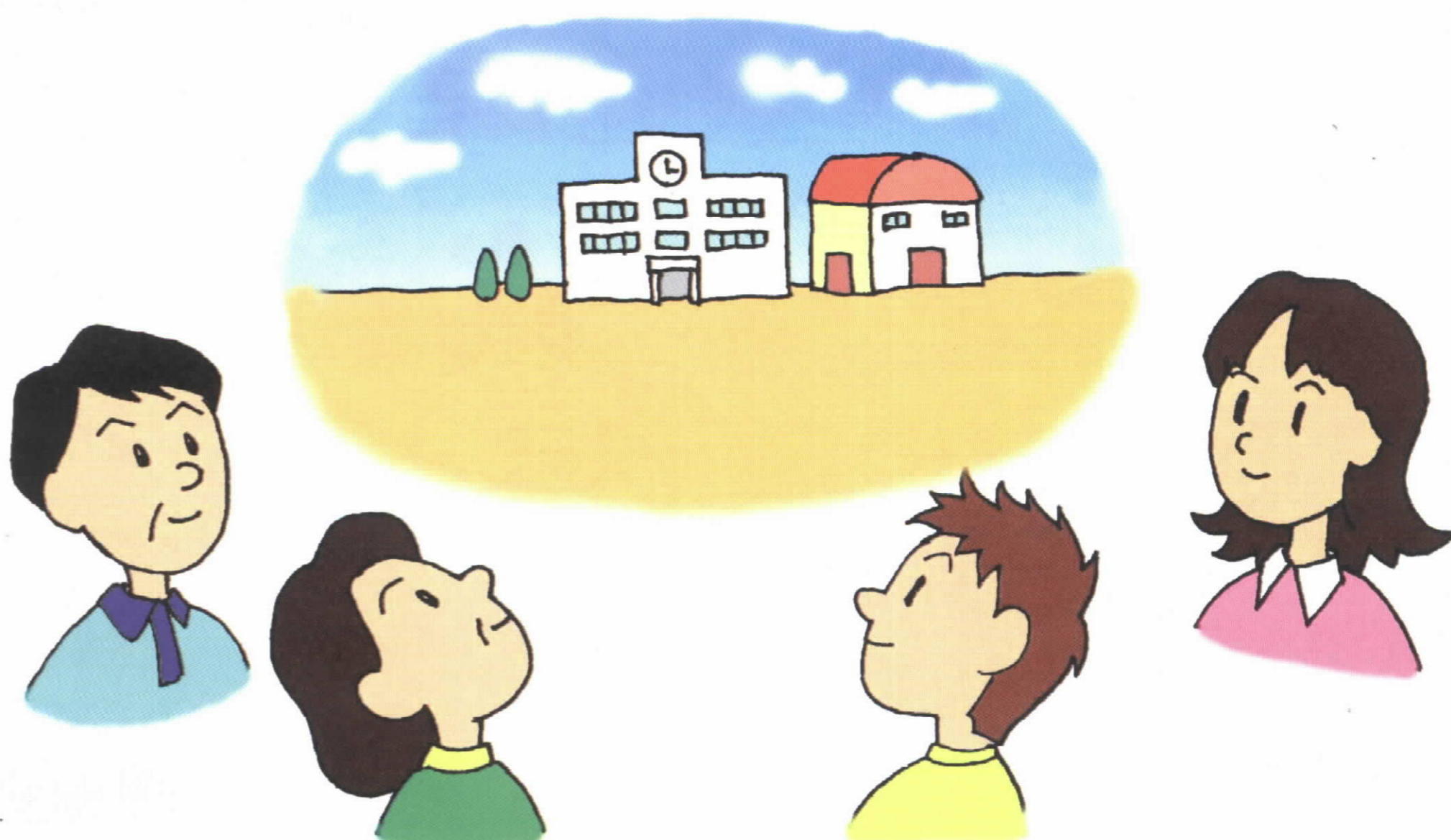
梅雨時期・台風時期を

むかえるにあたり

梅雨や台風の大雨が思いもかけない災害をもたらすことがあります。次のようなときは、危険信号ですので十分注意し、早めに自主的に避難してください。

避難所一覧表

名 称	所 在 地	電 話 番 号
奥池集会所	奥池南町34-4	32-0763
県立芦屋ユースホテル	奥池南町40-30	38-0109
三条小学校	三 条 町39-20	34-0501
山手中学校 (南校舎のみ)	三 条 町39-10	32-1122
西山幼稚園	西 山 町22-15	32-5457
前田集会所	前 田 町9-11	23-3899
山手小学校	山 手 町8-3	32-1113
市立芦屋高等学校 (体育館のみ)	剣 谷 9	32-1131
大原集会所	大 原 町20-2	38-7782
市民センター	業 平 町8-24	31-4995
上宮川文化センター	上 宮 川 町10-5	22-9229
朝日ヶ丘小学校	朝日ヶ丘町10-10	32-1115
朝日ヶ丘集会所	朝日ヶ丘町30-9	23-4896
岩園小学校	岩 園 町23-41	32-1114
岩園保育所	岩 園 町2-18	31-0335
芦屋大学附属中・高等学校	六 麓 荘 町16-18	31-0666
翠ヶ丘集会所	翠 ヶ 丘 町9-15	22-2475
精道小学校	精 道 町8-25	32-1111
市立体育館	川 西 町15-3	31-8228
茶屋集会所	茶 屋 之 町8-20	32-1232
竹園集会所	竹 園 町5-6	22-2484
伊勢幼稚園	伊 勢 町13-14	31-8313
宮川小学校	浜 町1-9	32-1112
県立芦屋高等学校	宮 川 町6-3	32-2325
小槌幼稚園	打出小槌町15-7	22-4885
国立海技大学校	西 蔵 町12-24	38-6202
打出浜小学校	新 浜 町8-2	23-4581
精道中学校	新 南 宮 町9-7	32-1121
春日集会所	春 日 町13-17	32-5377
浜風小学校	浜 風 町1-1	23-4591
浜風幼稚園	浜 風 町1-2	31-1505
浜風集会所	浜 風 町3-2	38-0960
新浜保育所	新 浜 町1-1	32-0410
潮見小学校	潮 見 町1-2	34-0721
潮見中学校	潮 見 町20-1	34-1601
潮見集会所	潮 見 町7-1	32-4359
合計	36か所	



避難所はどこか知っていますか

災害が起こったときのために、家族で次のようなことをあらかじめ決めておき、いざというときに備えましょう。

●避難所はどこか。どの道を通っていくか。

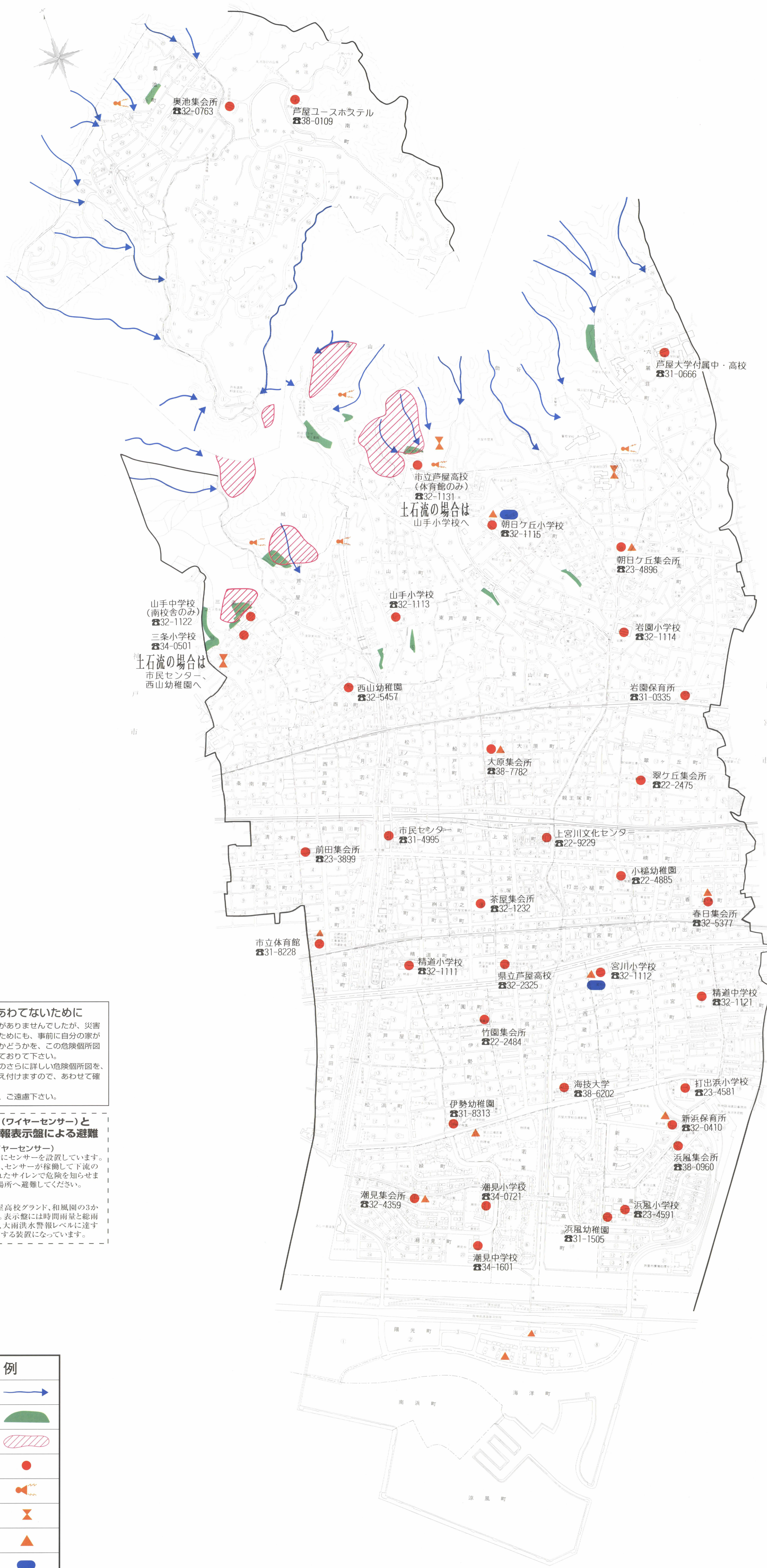
また、道が通れなくなる場合もあります。そんなときのために、二通りの道順は覚えておきましょう。

●もしも、家族がばらばらになってしまった場合の連絡方法や、集合する避難所を決めておきましょう。

※土石流発生のおそれがあるときは

- 三条地区は市民センター、西山幼稚園へ避難
- 山手地区は山手小学校へ避難

避難所の所在地及び土石災害の危険箇所図



いざという時あわてないために
 昨年は幸いにも、被害がありませんでしたが、災害が発生した時あわてないために、事前に自分の家が危険地域に該当しているかどうかを、この危険箇所図を参考にし、よく確認しておいて下さい。
 また、山沿いについてのさらに詳しい危険箇所図を、お近くの市公共施設に備え付けてありますので、あわせて確認して下さい。
 なお、電話での確認は、ご連絡下さい。

※土石流感知装置(ワイヤーセンサー)と雨量警報表示盤による避難

- 土石流感知装置(ワイヤーセンサー)
 特に危険な渓流7か所にセンサーを設置しています。土石流が発生すると、センサーが稼働して下流の市街地付近に設けられたサイレンで危険を知らせますので、直ちに安全な場所へ避難してください。
- 雨量警報表示盤
 三条北公園、市立芦屋高校グラウンド、和風園の3か所に設置されています。表示盤には時間雨量と総雨量がデジタル表示され、大雨洪水警報レベルに達すると赤色回転灯が点灯する装置になっています。

凡 例	
土石流危険渓流	
がけ崩れ危険箇所	
山地災害危険箇所	
避難場所	
土石流サイレン	
雨量警報表示盤	
防災倉庫	
飲料・消火兼用貯水槽	

本図は昭和63年4月製図、平成10年3月一部修正したものである。

家庭での備え

地震対策

◎ガス機器の周りには、燃えやすい物を置かない。特に、棚などから燃えやすい物が落ちないようにする。

◎二階以上にピアノや大量の書籍などの重量物を置かない。

◎タンス・本棚などは、ワイヤーやL字金具などで固定して倒れないようにする。

◎寝室には、落下物等の危険がない安全なところを選ぶ。

◎塀、庭木などが倒れやすくなっていないか点検して、必要があれば支柱、そえ木等で補修、補強する。



風水害対策

◎ベランダに置いてある物干しざお、植木鉢など風に飛ばされやすい物は、屋内に入れるか、ロープで固定する。

◎屋根がわら、スレートのゆるんだところは、補修する。

◎下水、とい、側溝などは、たまった土や木の葉を取り除き、水の流れをよくする。

◎テレビアンテナは、針金で固定する。



食料、水の備蓄を

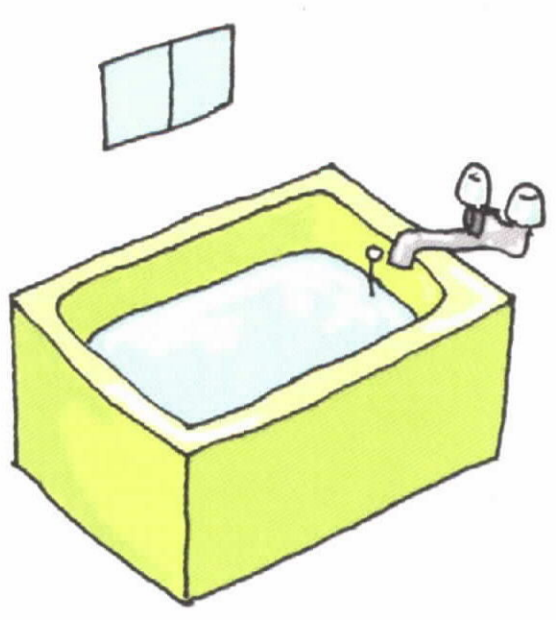
食料・飲料水

次のような物を最低三日分は用意しておきましょう。

- 主食：米、乾パン、インスタント食品 など
- 副食：漬物、梅干し、佃煮、缶詰など
- 調味料：みそ、しょうゆ、塩など
- 飲料水：一人につき一日三リットル

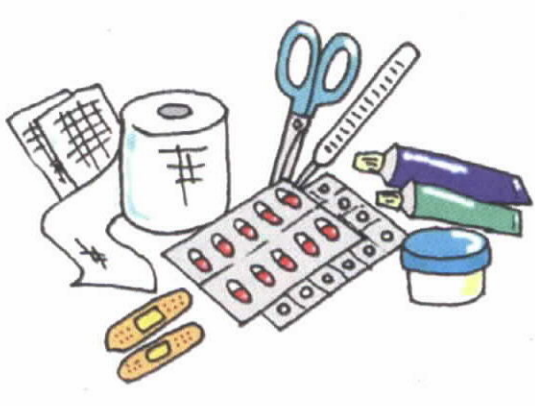


※風呂に水をためておきましょう。多目的に使えます。



救急医薬品

- 包帯、ばんそうこう、滅菌ガーゼ、三角巾、体温計、はさみ、ピンセット、傷薬、目薬、解熱剤、風邪薬、常備薬 など



日頃の備えが大切です

土砂災害に備えるための

チェックリスト

- 自分の家の周辺に斜面地等の危険箇所がありますか？ CHECK!
- 避難場所を確認し、あらかじめ避難経路、避難時間を把握していますか？ CHECK!
- 非常時の持ち出し品は準備していますか？ CHECK!
- 災害等の異常時の連絡先を把握していますか？ CHECK!
- 近所にお年寄りや身体の不自由な方がおられますか？ (万一の場合は、お互いに協力しあって避難しましょう) CHECK!

私たちの避難場所は TEL -

消防署 TEL 32-2345 市役所 TEL 31-2121
警察署 TEL 23-0110 TEL

いざというとき

非常持ち出し品



この他、赤ちゃんのいる家庭では、ミルク、ほ乳ビン、離乳食、おむつ、着替えなども忘れず！

普通救命講習会の受講

私たちは、いつどこで突然のケガや病気に襲われるか予測できません。またケガや病気の中には、そのままにしておくと状態の悪化を招き、危険におちいることがあります。このような場合には、一刻も早く適切な応急手当が必要です。

その応急手当をおこなう人こそ、その場に居合わせた「あなた」なのです。

消防本部では、二カ月に一度、応急手当を普及する普通救命講習会を実施しています。一人でも多くの方が応急手当を実施できるよう受講してください。



普通救命講習会の問い合わせは
消防本部救急救助担当課
TEL 38-2096

地域の備え

自主防災組織をつくりましょう

災害が起こった場合、被害を最小限にとどめるよう、市をはじめ防災関係機関は総力をあげて防災活動に取り組みます。しかし、たとえば地震による災害は火災をはじめ、道路寸断、建物などの倒壊、津波による災害、断水や電力供給の停止など多種多様にわたり、関係機関のみの活動では十分に対処できないことが考えられます。

そこで、それぞれの家庭での日頃の備えや、いざというときの心がまえが必要となります。それに加えて、隣近所、地域ぐるみの防災活動が大変重要な役割を果たします。

地域に住むみなさんがお互いに協力しあい、地域全体の安全を守る必要があります。自主防災組織は、そのような地域の防災活動を効果的に行うための組織です。

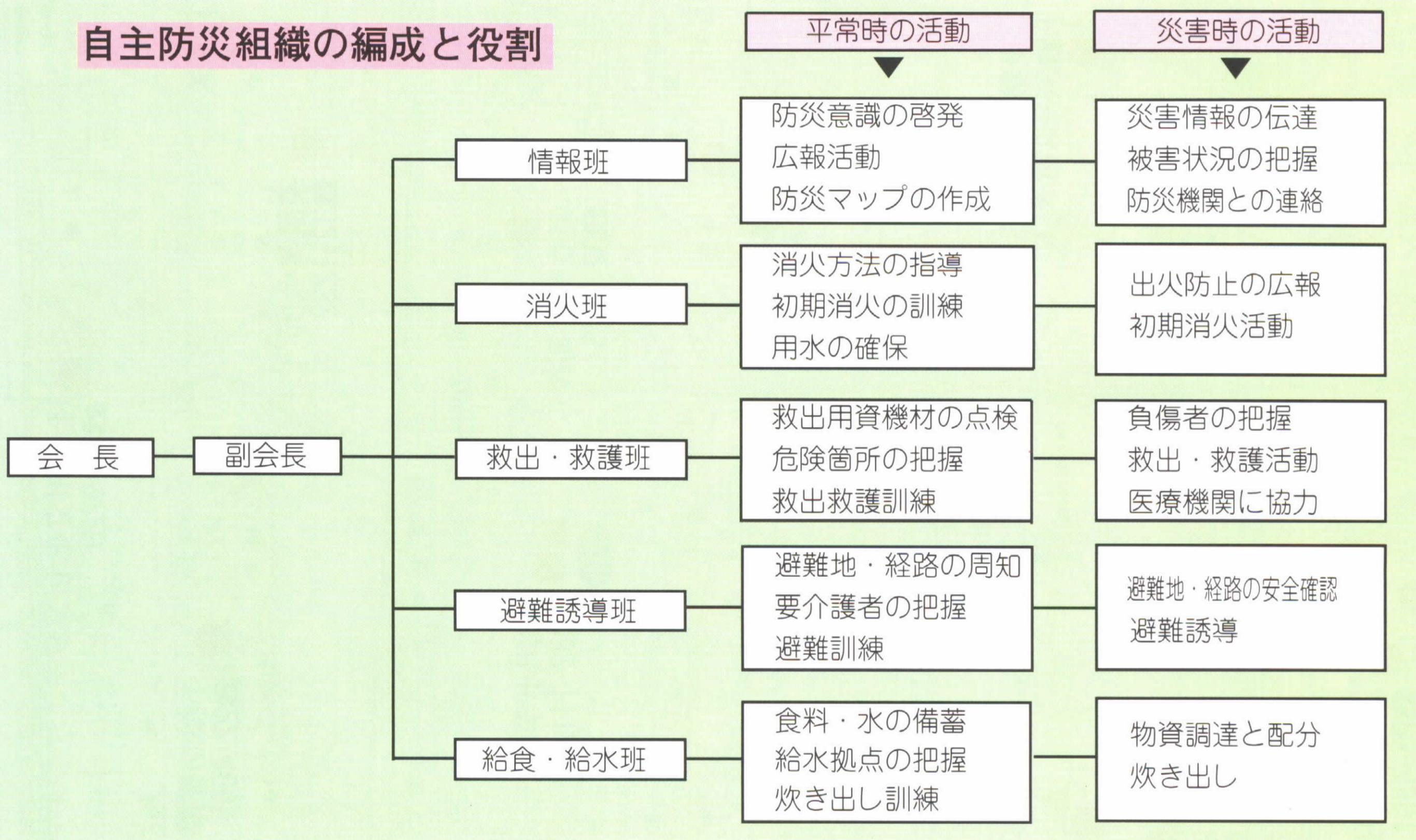
その役割の重要性を十分にご理解いただき、自主防災組織を確立し、「災害に強いまち」をつくりましょう。

現在、市内では全世帯数の三二・二%の世帯の方が各自治会等で自主防災組織をつくり、訓練等の活動をされています。

次に、自主防災組織の編成と役割の一例を示しますので、参考にしてください。

ご相談は防災対策課へ。

自主防災組織の編成と役割



市の防災対策

種々の災害に備え、芦屋市地域防災計画に基づき、総合的な防災対策を進めています。その主なものは、次の通りです。

- ① 宅地防災パトロールや危険箇所のパトロール
- ② 食料や物資の備蓄
- ③ 飲料水の確保
- ④ 救急医療体制の整備
- ⑤ 相互応援体制の整備
- ⑥ 土石流等による二次災害対策の推進
- ⑦ 防災訓練、防災教育の実施および地域における自主防災組織の育成・活動の支援
- ⑧ 情報収集・連絡体制の整備
- ⑨ 応急対策活動の整備

飲料水の確保

飲料水の確保のため、百トンの耐震性飲料・消火兼用貯水槽を宮川小学校、朝日ヶ丘小学校に設置しています。

防災倉庫の整備

自主防災組織に活用していただく資機材倉庫として、防災倉庫を潮見集会所、大原集会所、朝日ヶ丘集会所、新浜保育所、下水処理場、春日公園、市立体育館、南芦屋浜集会所、陽光公園および宮川小学校、朝日ヶ丘小学校に設置しています。

※飲料水の確保・防災倉庫については、今後各地域に順次整備していく予定です。

土砂災害防止月間パネル展

- 期間 6月1日～6月8日
- 会場 市民センター2F・空中通路展示スペース
- 内容 阪神大水害等土砂災害に関する展示
- 主催 芦屋市
建設省近畿地方建設局六甲砂防工事事務所

防災訓練のお知らせ

防災関係機関の協力のもと、防災訓練を実施します。

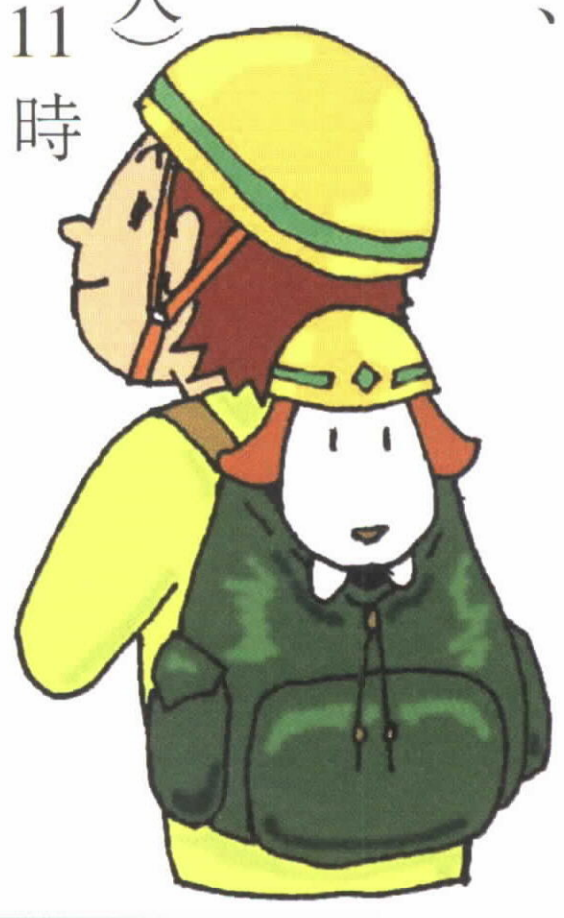
1 日時

平成10年6月2日(火)
午前10時～11時

2 訓練内容

- ① 避難訓練および講演(奥池集会所)
※奥池地区に設置(滝ヶ谷)している、土石流ワイヤーセンサーのサイレンを約1分間吹鳴させます。
- ※講演は建設省六甲砂防工事事務所の建設専門官から「土砂災害について」

- ② 水防訓練(芦屋川河口)
芦屋市・芦屋市消防団



問い合わせ
防災対策課
TEL 38-2093

